

コロナ危機でのたたかいー国際民婦連 (WIDF) 情報から 増える児童婚・イラン

コロナ禍で児童婚が増加しています。この9カ月で18歳以下の婚姻25000件が登録され、10歳から14歳の少女9058人が結婚、188人が離婚または寡婦になりました。

政府は児童婚を問題視せず、国の宗教と教育に合致していると評価しています。13歳以下の婚姻を禁止する法案は、議会でずっと否決されています。

イラン・イスラム共和国は女性差別撤廃条約に加入していない世界4カ国の一つ。女性は暴力と虐待に耐え、権利侵害を受け入れなければならず、児童婚に問題はないというのです。イランの人々、とりわけ女性と子どもの権利を抑圧し、抵抗する者は逮捕・拷問するこの体制のもと、私たちはたたかっています。(イラン民主女性の会)

医療費削減NO・ギリシャ

支配層にとって、人々の健康は国の「コスト」であり医療・保健関連大企業の「利益」だということが、コロナ禍ではつきりました。政府は製薬会社やNATOの装備に湯水のように出費する一方で、国の医療費は削減しています。

基礎的医療のスタッフも設備も足りず、とくに妊婦健診が不十分です。多くの女性医療スタッフが心身の疲労とオーバーワークで限界にきています。高齢の親や子どもの健康が、家族の肩にかかっているのです。家族の健康に、市場や利潤の原理を適用することなどできません。

解雇、雇止め、フレックスタイム、テレワークが強化され、際限のない労働時間の延長で女性労働者の心身の負担が増しています。労働者の権利侵害、労組加入妨害まで起きていますが、私たちは声をあげ続けます。(ギリシャ女性連合)



▼『女性白書2021 8月発売

ーコロナ禍とジェンダー平等への課題

岡野八代、石川康弘、伊藤周平、堀内光子、姉齒暁、岡田知弘ほか。各分野の最新資料・統計も。3300円+税。送料167円。

(2020年版『北京+25』在庫有り)

▼2021年戦争はごめん女性のつどい

8月21日(土) 13:30~15:30

会場・新婦人中央本部

講演「日米軍事同盟の現段階と土地利用規制法案」について

講演：千坂純 日本平和委員会事務局長

(コロナの状況により変更の可能性も)

国際カンパのお願い

婦団連は、ジェンダー平等、女性の人権、恒久平和を求めて活動する国際民主婦人連盟の執行委員として活動しています。

核兵器禁止条約に世界各国が批准するようさらに働きかけを強めていきましょう。

婦団連の国際活動は皆様のカンパで支えられています。日頃のご支援に感謝申し上げますとともに、今回もご協力をよろしくお願ひいたします。 振込先・日本婦人団体連合会

郵便振替 00160-4-59402